

Ⅲ. Xは、行政庁（Y）による障害年金の支給裁定を受け、障害年金を受給してきた。ところが、支給裁定から20年を経過した時点で、Yは、年金額が当初から過大であったとして、支給裁定時点までさかのぼって支給額を減額する再裁定処分を行った。この結果、Xは、障害年金が減額された上に、過払分についても年金から控除されることとなり、生活の基盤を大きく脅かされることとなった。そこで、Xは、行政法に詳しいA弁護士に相談してみることにした。Aとしては、Xに対してどのようなアドバイスをすることができるか、論ぜよ。解答は、茶色の解答用紙（その2）にしるせ。（1000字以内）

2007年度

公法問題用紙

注意

1. 試験開始の指示があるまでこの問題冊子を開いてはいけません。
2. 解答用紙は黒インクのボールペンまたは万年筆で記入してください。黒インクのボールペンまたは万年筆を忘れた者は監督に申し出てください。（黒鉛筆・シャープペンシルなどを使用してはいけません。）
3. この問題冊子は4ページまでとなっています。試験開始後、ただちにページ数を確認してください。
4. 解答用紙にはすでに受験番号が記入されていますので、あなたの受験番号の番号であるかどうかを確認してください。
5. 解答は解答用紙の指定された解答欄に記入し、その他の部分には何も書いてはいけません。
6. 解答用紙を折り曲げたり、破ったり、傷つけたりしないように注意してください。
7. この問題冊子は持ち帰ってください。

I. 法律に定められたある事項に基づく区別が、憲法14条1項の定める平等原則に違反するとして裁判で争われた場合、裁判所はどのように審査すべきか、具体的な事例をあげて論ぜよ。解答は、紺色の解答用紙(その1)にしるせ。(1000字以内)

II. 次の問(1)・(2)のうち、どちらか一つを選択して、その概念について論ぜよ。解答は、紺色の解答用紙(その1)の裏面にしるせ。また、選択した問題番号を解答用紙の所定欄に明示せよ。(500字以内)

(1) 国会議員の免責特権

(2) 地方自治の本旨